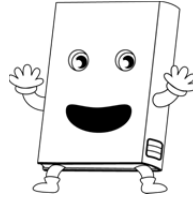


としょしつ 図書室だより



平成27年6月3日

横浜市立中村小学校
校長 中川和幸
学校司書 青木美佳

No. 3

つゆ きせつ おきに いり ほん
～梅雨の季節だからこそ、お気に入りの本をさがそう。～

6がつ てーまてんじ
6月のテーマ展示

つゆ たのしくすごそう
～梅雨を楽しく過ごそう～

さわやかな5月が終わり、6月に入りました。6月といえば「梅雨」(雨が降りやすい季節)です。じめじめとした雨の多い時期になりますが、この時期がないと生き物は成長できません。雨の多い時期だからこそ、私たちの住む地球の不思議や天気、生物について調べてみましょう。また、図書室には梅雨の頃に活躍するカエルやカタツムリの物語の本もたくさんあります。ぜひ読んでみてください。



おはなしかい お話し会について

れお れおに せかい たのしもう
～レオ・レオニの世界を楽しもう～
(全20回)は6/26までやります。

じかん なかやすみ
時間：中休み

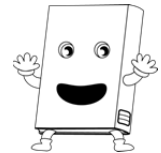
ばしょ としょしつ おーぶんすぺーす
場所：図書室のオープンスペース

りんじぞうかんごう おしらせ
臨時増刊号でもお知らせしましたが、レオ・レオニの作品を一日に一冊取り上げて、お話し会を行っています。ぜひこの機会にレオ・レオニの作品がもつ素晴らしい絵本の力に触れてみてください。

なまえぼしゅうちゅう 名前募集中！！

としょしつだより へんきやく
「図書室だより」にはもちろん、返却のしおりや図書室のいろいろなところに登場する本のイラストのキャラクターに名前をつけてあげてください。名前の募集の応募用紙は図書室にあります。

この子に名前をつけてください



クイズ「いただきます」の語源はなに？

こげん (語源とは・・・どうしてそのような名前がついたのかという理由のこと。その理由について考えてみましょう。)

つぎ なか
次の中から「いただきます」のもとになった言葉をえらびましょう。(答えはプリントの裏)

- A: 「板空きます」が元の言葉。調理に使ったまな板が空き、食べる準備ができたというのがもとの言葉。
- B: 「板をだく」というところから出てきた言葉。食事を作るときに役に立ったまな板に感謝する意味から生まれた言葉。
- C: いただきますの「いただき」は「頂き」という一番高いところを意味している。つまり、いちばん高いところにのせて、ありがたくいただくということから生まれた言葉。

..... さあ、どれかな？考えてみましょう。

世界のおとぎばなしの中には「シンデレラ」「白雪姫」「オーロラ姫」「人魚姫」など美しいお姫様がたくさん登場します。どれもディズニーのアニメや映画になっていますが、原作者（その本のもとになったお話しを書いた人）は全く違う人達です。「シンデレラ」はこの春に映画化もされて、話題を呼びましたね。先日はテレビでもディズニーの「塔の上のラプンツェル」が放映されました。歌うと光る魔法の長い髪をしたラプンツェルの作品は本当に美しいお話しでした。図書室には外国のおとぎばなしの本もたくさんあります。ぜひ、実際に本を読んでみましょう。どうやら「ラプンツェル」は原作では三つ編みをしてきたようです。

また、日本のおとぎばなしには「鬼」がよく登場しますが、外国のおとぎばなしには「魔女」がよく登場します。日本と外国の悪役の違いについて調べてみるのもとても面白いですよ。

クイズ「いただきます」の語源

位の高い人から物をもろうとき、頭の上のせるような動作をしたことから、この言葉ができたそうです。食べ物を食べるということも、大変ありがたいことなので、食事をする時のあいさつとして、この「いただきます」という言葉が定着したようです。

クイズの答えはCでした。

ところで・・・

「いただきます」や「ごちそうさま」という言葉は、食べ物や料理してくれた人に対する感謝の気持ちを込めた日本独特の言葉のようです。

ちなみに、英語ではどちらにもあてはまる言葉がないそうです。英語の字幕などでは、「いただきます」は「サンキュー」や「わたしは食べる」。「ごちそうさま」は「わたしは食べ終わった」と訳されています。

日本語は本当に豊かな言語ですね。

図書室からのお願い

- ◆本の返却期限を守りましょう。
- ◆図書室の中では静かに本を読みましょう。
- ◆本は大切に扱ってください。

やぶれた本を見つけた場合は先生が直しますので、教えてください。



懐かしい教科書シリーズ・第三弾

『小さな犬の小さな青い服』

おじいさんが小さな黒い犬をかっていました。とても小さな犬だったので「ねずみ」という名前がつけられました。「ねずみ」は狩りが大好きでした。でも、まだ一度もうさぎをつかまえたことがありません。「ねずみ」はうさぎをつかまえるために必死でした。そんなある日、ついに「ねずみ」はうさぎの巣穴を見つけます。巣穴に入り込んだ「ねずみ」は大きなうさぎに出会います。ところがそのうさぎは「ねずみ」をみても怖がりもしないし逃げもしません。それどころか・・・

（さあ、どうなるのでしょうか？本を読んでみましょう。『光村ライブラリー9』）

おしらせ

新しい本が入りました。朝読書の時間にも紹介していきませんが、図書室でも毎日のように展示・紹介をしています。ぜひ、自分で最後まで読むことにもチャレンジしてみてください。

本の一部を紹介します。

1,2年生向け：『三びきのやぎのがらがらどん』『まほうのコップ』『みずいろのぞう』『もぐらバス』

3,4年生向け：『昔の子どものくらし事典』『お手玉』『凧』『里山』『昆虫記』

5,6年生向け：『ツキノワグマ』『ゴミにすむ魚たち』『バーナムの骨』『伝統工業を調べよう』『時間の研究』『キラキラ子どもブックガイド』『チームふたり』『スウィート・メモリーズ』など